

濃縮バイオ液肥で拓く 糸島農業の未来

液肥開発・利用におけるさまざまな問題について、九州大学大学院農学研究院の矢部教授と、築上町役場産業課の太田様から 30 年の液肥利用の実例として、現場の取り組みや今後の可能性も含めてお話しいたします。

日時

2024年3月9日(土)13時開演

参加費無料・事前申込必要(2月26日(月)まで) (12:40 受付開始)

会場

九州大学伊都キャンパス 福岡市西区元岡 744
ウエスト 5 号館 東棟 2 階 大講義室(232号室)

第 1 部

濃縮バイオ液肥(Bio-CLF)の開発の現状と機能特性

九州大学大学院農学研究院 環境生命経済学 教授 矢部 光保 氏

Bio-CLF は研究段階を終え、普及段階に入りつつあります。そこで、土地利用型農業はもちろん施設園芸、さらには沿岸養殖への適応も視野に、Bio-CLF の特性、化学肥料への代替、実証栽培の結果、有機 JAS 資材認証の可能性等についてご紹介します。



第 2 部

築上町の資源循環型農業の取り組みについて

築上町役場産業課 農業振興係 太田 美加 氏

築上町の特徴や作物、液肥の利用状況をご紹介します。資源循環型農業と液肥事業の経緯、行政内の位置づけ、製造方法、発注から納品の流れ等の仕組みについてご説明いたします。また、液肥の特徴、普及上の課題、リサイクル総合研究事業の成果等もお話しいたします。



第 3 部

パネルディスカッション

コーディネーター：矢部 光保 氏 (九州大学大学院農学研究院 教授)

パネリスト：太田 美加 氏 (築上町役場産業課 農業振興係)

井上 博幸 氏 (株式会社井上ピッグファーム 代表取締役)

日高 輝富 氏 (有限会社日高農園 代表取締役)

参加申込

申込方法：QRコードを読み取り、アカウント登録後お申込み下さい。



すでにアカウント登録をされている方は、ログイン後参加申込み下さい。

QRコードをお使いいただけない場合は、下記連絡先まで、氏名・連絡先(TEL・FAX・メールアドレス)をお知らせ下さい。FAXでお申し込みいただく場合は裏面の「参加申込書」をご利用下さい。

アグリコラボいとしま事務局

TEL:092-802-4700 FAX:092-802-4541 E-mail:ito-office@agr.kyushu-u.ac.jp

プログラム

アグリコラボいとしま ワークショップ・パネルディスカッション

濃縮バイオ液肥で拓く糸島農業の未来

13:00 開会あいさつ

13:05 第1部 濃縮バイオ液肥(Bio-CLF)の開発の現状と機能特性
九州大学大学院農学研究院 教授 矢部 光保 氏

14:05 休憩(10分)

14:15 第2部 築上町の資源循環型農業の取り組みについて
築上町役場産業課 農業振興係 太田 美加 氏

15:15 休憩(10分)

15:25 第3部 パネルディスカッション

コーディネーター: 矢部 光保 氏 (九州大学大学院農学研究院 教授)

パネリスト: 太田 美加 氏 (築上町役場産業課 農業振興係)

井上 博幸 氏 (株式会社井上ピッグファーム 代表取締役)

日高 輝富 氏 (有限会社日高農園 代表取締役)

16:55 閉会あいさつ



参加申込書(お申込み期限:2月26日(月))

FAX送付先:092-802-4541

ふりがな	
氏名	
連絡先	TEL: _____ FAX: _____ E-mail: _____
参加方法	現地会場(定員100名) ※今回オンライン視聴は行いません。
備考	

※ご記入いただきました個人情報は、このイベントに関わる目的のみに使用し、他の目的には使用いたしません。

糸島農業産学官連携推進協議会は、平成22年3月設立以来、「農業生産に係る研究及び生産現場のニーズについて」講演会やワークショップを開催、農産物の鮮度保持やブランド化、情報通信技術の活用、家畜伝染病、市場開拓、地産地消、スマート農業、土づくり、鳥獣害対策など、糸島農業の現場の課題に産学官連携のなかで取り組んできました。地域に根ざした持続可能なこれからの農業を、「まちづくり」の視点から考えます。どなたでもご参加いただけますので、皆様のご参加をお待ちしております。